

NO.
42



岩田 とも子

県議会レポート



発行所/〒861-2103 熊本市東区若葉5丁目8-14
連絡先/立憲民主連合 TEL:096-333-2644
FAX:096-387-5223
E-mail: tomokorin.berurin@icloud.com
HP: <http://www.webrun2.jp/tomo-tomo55/>

今年の夏の雨は、線状降水帯からの異常な降水で、県下各地に大きな被害を及ぼしました。4名の尊い命が失われ、未だ1名の方が安否不明となっています。まずはお亡くなりになられた方へのお悔やみと被害に遭われた方々へのお見舞いを申し上げます。

9000棟を超える住家被害も生じ、トマトやイチゴの苗やいぐさなどへの被害もありました。大量の車両の水没や車で移動途中の被災もありました。豪雨災害の課題も含めて、9月定例会の報告をします。

【熊本県議会のホームページ】

県議会インターネット
中継・録画はこちらより
ご覧ください



9月議会報告

今夏の災害対応については、86億円の専決処分がされました。

災害への対応と、県立大学半導体関連の学部設置などで、550億円の補正予算が組まれ、今年度の予算は9,176億円となり、承認されました。

知事は議案説明で、「国において、令和8年度の概算要求に川辺川ダム本体工事の準備に必要な予算が組まれ、川辺川ダムを含む「緑の流域治水」を着実に進

めてもらいたい。半導体関連産業については、さらなる集積を目指す。」と言われました。しかしこの2点については、おおいに異論のあるところ。来年度からダム予算が計上されることになります。

スポーツ施設については、県立体育館は現地で建て替え整備、藤崎台球場は移転整備、武道場への空調はすぐに取り組むことになりました。

岩田智子の一般質問 (16回目の登壇) 9月24日

1

長射程ミサイル配備に かかる県の姿勢について

8月21日に健軍駐屯地に攻撃能力のある長射程ミサイルの配備が決まったとの報道が出ました。マスコ

ミの確認に知事公室長からは「寝耳に水」という発言が出ました。これまで県民が県に配備中止や国からの説明を要請し、それに応えられていたにもかかわらず、そのような発言をされたのか知事公室長にお聞きします。

知事公室長

3月16日に配備先を九州とする方向で検討に入っ
たとの報道があり、3月18日に中谷防衛大臣が「今は
検討中、配備が決まれば、地元自治体を含む皆様に丁
寧な説明、情報提供に努める」との発言で、全国に配
備されることは承知していたが、7月28日夜間に健軍
駐屯地に配備される報道があり、「寝耳に水のような
ものと印象を受けた」とこたえた。

私はこの長射程ミサイル配備については憲法違反
だと考えています。知事は国防に関することは国の専
管事項であるとした上で国に丁寧な説明をお願いす
ると述べられました。県民に寄り添い、県民の不安を
払拭するため、ミサイル配備についての知事自身の認
識及び是非を問いたいと思います。また、これまで要
望している国による説明会の開催が見通せない場合、
どうなさるおつもりなのか伺います。

木村知事答弁

配備に関する認識、是非については国の専管事項
で、判断する立場にはない。国へ丁寧な説明を要望し
た。九州防衛局では相談窓口やQ&Aのホームページ
への掲載等の対応をしてもらった。国による説明会の
開催については国に適切に判断していただけるもの
と思う。国による積極的な外交の展開により、平和で
安定した国際社会の実現を切望している。引き続き、
国に要望する。

岩田とも子の意見

代表質問で3人、一般質問で2人の5人の議員
がこの件については質問しました。知事は自身
の考えは表明せず、国の専管事項であることを
強調し、防衛省が相談窓口を作り、ホームペー
ジ上にQ&Aを作ったことを丁寧な対応だとしまし
た。納得できません。

2

菊池恵楓園への熊本県の 関わりについて

菊池恵楓園では、現在106名の方々が過ごされ、入
所者の平均年齢は88歳です。国は入所者が地域から
孤立することなく安心して豊かな療養生活を営むこと
ができるよう配慮しなければなりません。関係者から

の、ハラスメント相談や職員の自死の情報があり、そ
れができているのか、とても心配です。

ハンセン病問題の解決の促進に関する法律には、
第5条「国及び地方公共団体の責務」として、「地方公
共団体は基本理念にのっとり、国と協力しつつ、その
地域の実情を踏まえ、ハンセン病の患者であった者
等及びその家族の福祉の増進等を図るための施策
を策定し、及び実施する責務を有する。」と書かれて
います。

県は国との協力により、入所者の方々が安心して豊
かな生活を営むためにどのような取り組みをされて
いるのか、また、現在のハンセン病問題の正しい理解、
啓発の取り組みと課題、そして今後の取り組みにつ
いて、知事に伺います。

木村知事答弁

5月になくなられた志村康さんへのご冥福を祈る。

県としては、県出身の入所者の方々を特に対象に
県内各地への訪問や県産品を送る取り組みのなか
で、入所者の意向確認もしている。国や合志市などの
関係機関と、入所者の方々のご意見を伺ってまいる。
ハンセン病の啓発については「菊池恵楓園で学ぶ旅」
を21年続けている。県民アンケートでの、20代から
40代の世代で、ハンセン病に関する知識が不足して
いる傾向がある。広報をしていく。国と自治会、国、合
志市、県教委などの関係機関が連携して啓発に取り
組む。

岩田とも子の意見

菊池恵楓園はコロナ禍以降、なかなか積極的
な外部との交流ができにくい状況にあるようで
す。入所者の方々の高齢化も心配です。入所者
の方々にしっかりと寄り添っていただきたいし、若
い方々がハンセン病について正しい知識をつけ
る取り組みも大事です。

3

教員業務支援員の配置 について

熊本県は本年度、教員の負担を軽減するため、学校
での事務作業などをサポートする「教員業務支援員」
を全公立学校412校に配置されました。教員業務支
援員の配置についての効果と来年度以降の展望、「食

の指導の充実」のための栄養教諭の給食センター業務に対する支援員配置を含め、栄養教諭の働き方に対する負担軽減への取り組みについて教育長にお聞きします。

教育長答弁

当初の想定以上に効果が出ていると実感している。来年度以降のより効果的な配置につなげる。栄養教諭に対する負担軽減について、栄養教諭が食に関する指導に力が注げるように市町村教委、関係機関と連携をはかり、取り組む。

岩田とも子の意見

栄養教諭の仕事は多岐に渡っているので、本来の食の指導を充実させるために、工夫をしていただきたい。

4

地方創生2.0を支える女性への支援について

女性の社会減の問題については3年前の一般質問でも取り上げました。その後、熊本の20代30代の女性の転出超過数が男性を上回る要因についての調査が県立大学との協働で行われました。

そこで質問です。実施した調査の結果を受け、若年女性の転出超過数が男性を上回る要因をどう捉えられたのか。また、解決のために取り組んできたことと、今後の展望について環境生活部長におたずねします。

環境生活部長答弁

令和4年度調査において「希望する仕事や進学先が見つからない」「賃金等の待遇面への懸念」「夫は仕事、妻は家庭といった固定的役割分担意識が地元に残っている」などの結果であった。働き方、暮らし方への対応とともに、固定的役割分担意識を解消することが大変重要。

岩田とも子の意見

いまだに残る固定的役割分担意識の根強さは、女性たちを楽しくさせない大きな要因です！女性が働きやすい仕組みをつくれば地域創生につながるはずです。

5

指定管理者制度の物価変動等への対応について

公共サービスを提供している、指定管理者制度の下での職員の賃金は、公務員とは異なります。人件費等の管理運営費は公募時点でのものとなります。このことが人手不足を呼び込むことにもなりかねません。人件費を充実させなければ、質の良い事業運営に支障をきたすことにもなりかねません。

総務省からは令和4年から毎年原材料価格、エネルギーコスト等、賃金等の上昇等にかかる運用の留意点がだされ、コスト上昇等への対応の事例を通知されています。

急激な物価上昇、賃金の上昇に対応しながら安定的な指定管理者制度を運用していくための取り組みについて、総務部長にお聞きします。

総務部長答弁

本県の消費者物価指数は4年連続で上昇。2020年との比較でプラス11.8%。6月には国から通知が出された。見直しなど検討を深める。

岩田とも子の意見

西議員が昨年質問された時も同じような答弁でした。これは早急に見直しをしないと、運営そのものが難しくなります。

6

今回の水害被害を踏まえた防災について

今回の災害の特徴として、大量の車両の水没や車での避難途中あるいは走行途中での被災が課題になったと思います。車のまま流されてしまった方もおられますし、一家で2台3台と自家用車が水没したというご家庭が多数ありました。また、タクシーやバス、レンタカーなどの車両も被害を受けました。日ごろから、ハザードマップなどで地域の災害リスクをあらかじめ把握・確認しておくことや大雨が予想される場合は、本格的に雨が降り出す前、明るい時間帯に、早めに避難することが重要です。

今回の豪雨災害で、あらためて事前の災害リスクの

把握と、発災前の明るいうちに避難することの重要性が明らかになったと思いますが、これらの実践に向けた県の取り組みについて知事公室長にお伺いします。

知事公室長

予防的避難を推進するために、「マイタイムライン」の作成やハザードマップでの災害リスクの確認などで、実効性を高める取り組みを行なっている。「逃げ遅れ0」を目指していく。

岩田とも子の意見

今回の車の水没に関してですが、防災ハンドブックやマイタイムラインには、具体的な車両の避難の方法や対処法は記載されていません。人命を守るためのものであるからです。しかし、車社会である熊本、車両の水没を回避する具体的なガイドや対処を促すものが必要なのではないかとも思います。

意見書や請願

■ 健軍駐屯地への長射程ミサイル配備についての意見書(国に対して、目的や方法など住民に丁寧な説明をせよという内容)

賛成／岩田 西 幸村 岩中 4人
反対／他全員

自民党は反対討論されました。

ミサイル配備は抑止力となり、国民の生命財産を守る。配備により、我が国の意思と能力があることを示すことができる。不安を煽ることではなく、厳しい状況に置かれていることを発信することを国は進めていただきたい。

との反対討論でした。地域住民が納得できるのか甚だ疑問です。

■ 私学助成に関する意見書の提出を求める請願

・・・全員賛成で採択

岩田とも子の政治活動



連合熊本のクリーンキャンペーン街中を学生たちとゴミ拾いしてきました。相変わらずタバコの吸い殻多し!



厚生常任委員会での管内視察
ホンダの里 障害のある人もない人も共に働く場 くすのき園と光明堂園にもいきました。



高校生県議会では、玉名女子高校の生徒さんたちの担当でしたが、自分たちで課題を出し、自分たちで質問を考えました。公共交通の問題はどこ地域でも課題。知事がとても優しく答弁されて、高校生たちも嬉しそうでした。



街頭での演説も頑張っております。



全国都道府県議会の女性議員の集まりが初めて開催されました。熊本からは4人参加。幸村香代子議員はリモート参加でした。



平和が一番! 東区の会のスタンディングはミサイル配備反対でたくさん集まりました。



不言亭での県政報告会には学生たちもきてくれました。反戦平和の運動についての勉強もしました。



SNS
やってます
フォローして
くださいね!



【前号の訂正】

「イランがイスラエルにミサイル攻撃を行い、トランプ大統領がそれを承認し、イランの三つの各施設攻撃を行いました。」という文は間違いです。正しくは右記のとおりです。申し訳ございませんでした。

㊦ 2025年6月22日、アメリカ軍はトランプ大統領の承認のもと、イランの核施設3か所を空爆した。これに対する報復として、イランはイスラエルに弾道ミサイルを発射しました。